(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

特開平9-107654

(43)公開日 平成9年(1997)4月22日

(51) Int.CL.		做別記号	广内整理番号	PΙ			技術表示管所
H02K	5/22			HO2K	5/22		
	11/04				19/22		
	19/22				11/00	Y	

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

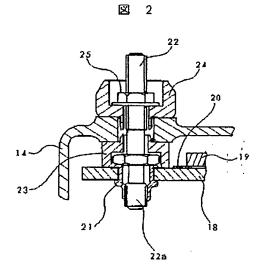
(21)出顧番号	特顧平7-263854	(71)出顧人 000005108
	•	株式会社日立製作所
(22)出顧日	平成7年(1995)10月12日	東京都千代田区神田駿河台四丁目 8 番地
_	2	(71)出題人 000232999
		株式会社日立カーエンジニアリング
		312 茨城県ひたちなか市高場2477番地
	·	(72)発明者 小栗 孝
		茨城県ひたちなか市高場2477番地 株式会
• •		社日立カーエンジニアリング内
		(72)発明者 本田 義明
		茨城県ひたちなか市大字高場2520番地 株
		式会社日立製作所自動車機器事業部內
	•	(74)代理人 弁理士 小川 黔男

(54) 【発明の名称】 専門用交流発電機

(57)【要約】

【課題】サイズの異なる出力端子ボルトを、同一の整流 装置から容易に取り出すことが可能な発電機の出力端子 の構造を提供する。

【解決手段】発電機の出力端子を、発電機の出力端子を 構成する出力端子ボルト22の反取り出し側に、雄わじ 部22aを設け、(+)側冷却フィン18に設けられた 貫通孔に加締め固定された片側締結ナット21に、出力 端子ボルト22の雄ねじ部を締結固定する。



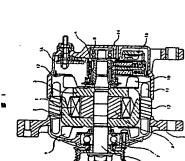
ව

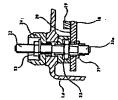
特閣平9-107654

そを取り出すことが可慮となり、結晶点数の地加を防止 [図2] 本発明の単両用文成典名類の出力増予部の断面 【四1】 本名明の車両用交流発名扱の断面図。 (関連の資準な影響)

FBCLMTR6.

9… (-) 原命却フィン、20…福禄ワート、31…不 14…エンドフレーム、18…(+)原始却フィン、1 厨輪結ナット、22…出力端子ボルト、22a…様ねじ 4. 23, 24…(6はブッシュ、25…ナット。 (性別の作品) *





オードを保持する時に複状の (+) 製造却フィンと、選 開記金属製エンドフレームの外側に取り出される出力塔 子を何えた東西用交流発電機において、前記出力信子の 反称り出し側には、はねじ却が扱けられ、両記(+)館 冷却フィンには、真道孔が設けられ、質記(+)便治力 記出力増子のほねじ部が締め付け固定されたことを特徴 【治水項1】発電板の整道鉄匠を構成する複数圏のゲイ フィンの質道穴に加煙の固定された片壁線はナットに関 AGEのこのシングを指成する金属数エンドレワームと、 とする単同用交法発信加。 [神計算求の毎回]

【発明の詳細な疑明】 [1000]

(名明の퇴する技術分野) 本発明は華両用交流発電機に

8.り、その固定方法は、出力増子を発着後の袖方向に取 【従来の技術】従来の車両用交流発電標では、出力艦子 は通常監査検証を構成するダイホードを保持、冷却する 出力端子ボルトパローレットを設け、(+)配合却フィ (+) 劇冷却フィンに看気的,製焼的に接続固定されて り出す場合は、例えば、特別昭60-109748号公報では、 ンに設けられた真道穴に圧入固定する方法をほってい

将によれば、鬼鬼被の田力指于ボルトが、冷ねり、ソの 道字M5以上のポルトで情報され、車両限のハーネスに 高気的に揺得された散検権子を、発着額の出力端子ポル トに挿入しナットで締め付け固定されているが、征未技 出力値子の取り出し位置が同一で出力値子のサイズが興 なる場合に、ローレット母が異なり同一の整演技習が使 用できず、都品点数が多くなるという問題があった。ま 、定明が解決しようとする課題」発着核の出力指子は、 ローレット圧人によって歯定されているため、所えば、 出力ペテナルトの反取り出し間に違むじざを設け [0003]

ポルトを、回一の監査検討から容易に取り出すことが可 序さ4mのアルミ製冷却フィンの場合、出力増チポルト [0004] 本発明の目的は、サイズの異なる出力塩子 能な発気様の出力増子の宿盗を提供することにある。 IMBUTLASTURS.

「罪祖を解決するための手段」 前述の目的を達成するた ひ、本発明は発電板の出力備子を、発電板の出力信子を 4成する出力端子ポルトの反取り出し側に、雄ねじ部を 数け、(+)配符セフィンの数けられた国道内に直接の 固定された片原は枯ナットに、関記出力塩テポルトの様 わじ却を締結固定する相当とする。 (0005

[0008]:鬼魅疑の出力強子会、鬼鬼殺の出力指子ボ ルトの反取り出し副にはねじ都を役び、(+)倒治却ン **し、片宮雄枯ナットに出力指子ボルトのはむじ即を結結** 径に合わせた片原は枯ナットを冷却フィンに共音できる 固定する措造とすることにより、出力端子ポルトの最大 ので、冷却フィンの板厚の制約を受けることなく、同一 の登武装置から異なるサイズの出力塔干を取り出すこと ィンに設けられた日道人に井里路指ナットや路林因院 が可能となる。

6届平8-107654

8

[現明の実施の形成] 以下、本発明の一美格所を説明す [0001]

ဓ

福面には、待却ファンタ、10が狭狭的に固定されてお [0008] 図1は本発明を透用した車両用交達発電機 コア2.3.スリップリング4を再する回転子5は、シ よって回転目由に支持されている。ボールコア2、3の の断面因を示す。この発電機は、界因コイル1、ポール +フト6に臨走されており、西路やペアリング7、8氏 り 回転子5の外国にはステータコイルし1を有するス テータコア12が、発電荷のハウジングを構成する一対 の略依状の金属製エンドフレーム13、14にインロー 方式によって放得されている。ペアリング7はフロント 厨エンドフレーム13に、 ヘアリング8はリヤ創エンド フレーム14にそれぞれ支持されており、リヤ側エンド 5、三相交通を全成整済する整施装置16,ファンガー フレーム14の内壁には、塩圧調整用のレギュレータ トープ争の内部部部が牧畜されている。

[0009]図2は車両用交流発着類の出力端子は必元 ず、この発電器の監備装置16は、三相交流を主義監決 →ド冊子を支持、冷却する金篇製の (+) 関係却フィン オード気子を投続する端子をインサート成形した出語製 する複数個の図示されてないダイオード来子と、ダイオ ット21に締め付け固定され、絶縁ブッシュココ、リヤ 18. (一) 観浴却フィン19, 結構ワート20. ダニ 「味ら却フィン」8 には買過大が投けられており、 杵藍盆 2.2の反取り出し側には ほわじが2.2 aが設けられて の図示されていない。強子白から排成されている。 (+) 枯ナット21が旬後が固定されている。出力増テポルト 49. (+)配谷加フィン18に装置された片側輪沿ナ 四メンドフレーム14、他はアッショ24を介したナッ ト25で締め付け固定されている。

> 冷却フィンに魅力じ都を設けて繰め付け固定する方法も

ることが可能な動むじのサイズが抑抑を受け、例えば、

発電核の出力増テポルトの反散り出し側に違わじ部を設 げ、(+)風冷却フェンに設けられた質適へに片像場合 ナットを結核固定し、片側幹結ナットに出力増テポルト の様ねじ部を特は固定する構造とすることにより、出力 **発子ボルトの母大径に合わせた片間降はナットを治却フ** 4ンに集合できるので、治却2.4ンの板庫の制約を受け ることなく、四一の経済状況から異なるサイズの出力語 [発明の効果] 本発明によれば、発電域の出力値子を. (0010)